

3月の無料相談

※祝日は除きます

相談名	日	時	場所	主な相談内容(相談員)	
市民法律相談	毎週火曜日	13:00~16:00		法律が関係する困りごと(弁護士) ※予約制	
市民相談	月~金曜日	8:30~17:15	広報広聴課 (☎内線2376)	要望、苦情、意見など(担当職員)	
司法書士相談	12日(水)	13:00~15:00		相続・贈与などの登記、遺産分割、その他法律問題(司法書士) ※予約制	
総合労働相談	14日(金)	13:00~16:00	広報広聴課	労働・社会保険関係、労使トラブルなど(社会保険労務士) ※予約優先(☎029-226-3296)	
心配ごと相談	水・金曜日	13:00~16:00	社会福祉協議会 (☎821-5995)	日常生活の困りごと、悩みごと(専門相談員)	
行政相談	19日(水)	13:30~15:30	ふれあいセンターながみね(☎内線2376)	国や法人・県に関する苦情、意見、要望(行政相談委員)	
税務相談	4日(火)	13:00~15:00	税理士会土浦支部(☎824-5055)	税に関すること(税理士) ※予約制(予約時間10:00~14:00)	
消費生活相談	月~金曜日	9:30~16:30	消費生活センター(☎823-3928)	商品、契約や多重債務などのトラブル(消費生活相談員)	
家庭児童相談	月~金曜日	8:30~17:15	こども福祉課 (☎内線2393)	18歳までの子どものすべてについて(家庭児童相談員)	
育児相談	月~金曜日	9:00~17:00	地域子育て支援センター“さくらんぼ”(☎823-1288)	乳幼児のしつけ、生活習慣(保育士)	
早期療育相談	月~金曜日	9:30~16:30	療育支援センターほか(☎822-3411)	言葉の遅れや落ち着きがないなど、子どもの発達、行動面に関すること(早期療育相談員)	
青少年相談	火~日曜日	10:30~17:00	青少年センター(ウララ2 8階 ☎823-7838)	青少年についての困りごと(専任相談員) ※電話相談可	
教育電話相談	月~金曜日	9:00~16:00	教育相談室 (☎823-7837)	不登校やいじめなどの早期解決と防止(教育相談員)	
交通事故相談	月~金曜日 (水曜日は弁護士相談)	9:00~16:45 (13:00~16:00)	土浦合同庁舎県南地方交通事故相談所(☎823-1123)	交通事故に関すること(県委嘱相談員・弁護士)	
人権相談	月~金曜日	8:30~16:00	法務局土浦支局 (☎821-0792)	家庭内の問題、いじめ、差別など(人権擁護委員、担当職員)	
生活相談	毎週水曜日	13:00~16:00	新治地区公民館 (☎862-2900)	生活上のこと、人権にかかわること(生活相談員)	
ひきこもり専門相談	4日(火)	10:00~12:00		ひきこもりについての困りごと(専門医) ※予約制。日時が変更になる場合があります。	
精神保健相談	14日(金)	14:00~16:00	土浦保健所 (☎821-5516)	精神障害者の医療などに関すること(精神科医師) ※予約制。1日2件まで。日時が変更になる場合があります。	
	17日(月)	10:00~12:00			
女性のための	フェミニスト相談	毎週水曜日	男女共同参画センター(ウララ2 7階 ☎827-1107) 月曜休館	夫婦のこと、対人関係や職場でのトラブルなど(専門の女性カウンセラー) ※予約制	
		8日(土)			10:00~15:00
	法律相談	27日(木)		13:30~15:30	法律が関係する困りごと(女性弁護士) ※予約制
	一般相談(外国人相談を含む)	14日・28日(金)		13:00~16:00	仕事、夫婦、家族など、女性を取り巻くさまざまな悩みごと(専門相談員) ※予約制
DVヘルプライン(電話相談)	20日(木)	13:00~16:00	☎827-2525	配偶者や恋人からの精神的・肉体的暴力など、女性のさまざまな悩みごと	

協働のコーナー

市民活動課 協働推進室  
(☎826-1111 内線2234)

1月25日(土)「みんなで協働のまちづくりシンポジウム」を開催しました

「『地域が育む子どもたち』~子どもたちの明るい未来のために~」をテーマに、子どもたちの笑顔があふれる社会環境をつくるため、地域住民、行政、市民団体などがどのように協力し役割を果たしていけばよいかを共に考える場として市民会館で開催しました。

◆基調講演「地域の関わりで子どもの自主性を育む」

千葉大学大学院教授・子ども安全まちづくりパートナーズ理事の木下勇さんが、松戸市小金地区での「わくわく探検隊」の取り組みや海外の子ども・住民参加のまちづくりの専門家との交流を通し、カナダ・ミュンヘンなど「子どもにやさしいまち」の事例を紹介されました。



「子どもたちが希望を持ち、大人と対等なパートナーとして未来を作っていくことが大切。子どもたちが自らできることを見つけ、それを大人が補完するという役割を果たせば、いい関係が築ける。」と話されていました。

◆事例発表(市内で活動する各種団体の取り組みを発表)

●中村東町々会 梶山修正さん

町内の親睦会や盆踊り大会などを通じた地域の世代間交流を紹介

●ネイチャークラブにいはいり 高田正澄さん

新治地区の里山環境を生かした星空教室や昆虫の観察など環境教育の取り組みを紹介

●食生活改善推進員連絡協議会 清水裕美さん

「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、地域でのおよこ食育教室を通じたボランティア活動の紹介

●社会福祉協議会 須藤美穂さん

福祉の心を育てるきっかけ作りや福祉体験キャンプなど、子どもたちに向けた福祉事業の取り組みを紹介

●一中地区コミュニティセンター 佐野光男さん

地区市民委員会の事業の一つとして実施している、子どもたちを対象としたチャレンジクラブ活動を紹介

